

第2回市民フォーラムアンケート結果概要

1 概要

第1回と同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、フォーラム実行委員会のメンバーで制作した動画配信等による情報発信及びアンケートによる意見募集を行う形式で実施

(1) 動画の内容 (約 20 分)

- ・ 実行委員会委員から骨子案について意見発表 など

(2) アンケート内容

- ・ 骨子案について

(3) アンケート受付期間

- ・ 令和3年1月18日(月)～2月5日(金)

2 アンケート結果概要

(1) 回答件数 55件 (郵送等27件、Web18件)

(2) 回答内容

① あなたご自身のことについてお尋ねします (単位：人)

障害のある方本人	18	家族	16	ボランティア	1
福祉事業従事者	3	民生委員	16	その他	1
性別	男性 31、女性 24				
年齢	30歳未満 0、30代 3、40代 3、50代 15、60代 13、70歳以上 21				
参加実績	はじめて 14、過去参加あり 41				

② 今回の動画があることをどのようにしてお知りになりましたか (単位：人)

市の広報	2	所属団体からの通知	23	市からの郵送案内	30
その他	1	参加者からの紹介			

③ 今回の動画配信による市民フォーラムについてどう思われましたか。

良い	44	・いつでも、どこでも、何度でも見ることができる(29)、考える時間が持てる(12)、その他(3)
良くない	7	・意見交換できない、一方通行感がある(3)、分からないことがその場で聞けないなど、内容の理解が難しい(1)、その他(3)

④ ノーマライゼーションプラン金沢2021骨子案の関心のある施策

重点施策名	数	主な意見（理由）
<p>1) とともに生きる</p> <p>【安全に安心して暮らせる「共生社会」の実現】</p>	31	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共生社会の重要性理解のための啓蒙活動が必要 ・ 自分たちが主体となり共生社会の実現を目指す ・ 子どもの頃から地域で出会い、ともに学び、障害に対する理解を深めていくことが重要 ・ 外観ではわかりづらい障害に対する啓発活動 ・ 必要な人に的確にサービスが届くような施策 ・ 障害、医療、介護の連携による地域包括ケアシステムの推進されている事業所等の具体的な実例を紹介してほしい。 ・ 心のユニバーサルデザインに期待 ・ 階段とトイレが難点の施設が多い。 ・ 感染症対策の充実強化を期待 ・ 外出しやすい環境を整備した事業所への支援 ・ ボランティア活動の充実はとても良く大事な施策 ・ 大規模災害発生時に円滑に避難できるシステム作りが重要 ・ 障害のある人の能力を引き出し社会貢献ができるように。 ・ 親なき後を見据え、生活と直結するグループホームの拡充や成年後見制度利用支援の充実
<p>2) 豊かに育つ</p> <p>【子育て支援の充実と医療的ケアを要する児童等への支援強化】</p>	22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少しでも負担が軽減することで豊かな育ちに繋げられる。 ・ 医療的ケアを要する児童の保護者の負担の緩和 ・ 子が安心して暮らせる家庭や病院等の支援を知りたい。 ・ 医療的ケアには、医療的知識を持った専門の人材が必要なので、公的な制度、援助が必要不可欠 ・ インクルーシブ教育の推進、全ての子どもが安心して共に学び、遊び、暮らせる環境づくりを推進 ・ 子供のころから共生社会を学ぶことが重要 ・ 子の目線に合わせ、1人ひとりに寄り添った支援 ・ 健常者の協力が不可欠 ・ 児童施設の職員の手厚い配置が必要
<p>3) 各分野におけるユニバーサルデザインの推進</p>	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の新設・改修時は、必ず障害者の意見を聴収 ・ 「ともに生きる」ためには、各分野のユニバーサルデザインの推進が必要
<p>4) 文化芸術活動等を通じた自立支援</p>	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金沢の伝統文化分野への就労に期待 ・ 才能の発掘が重要 ・ 触れる美術館や芸術活動参加の支援

5) 情報コミュニケーション施策の充実	14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話リレーサービスのA I等の応用による発展も含め期待 ・ 遠隔手話サービス、電話リレーサービスを初めて知った。 <p>市民フォーラム等で広く発信していくことが大切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 孤立することがないように、情報発信が大事 ・ オンライン会議が増える中、公的のWi-Fi環境の整備 ・ 通訳者の確保、外出の自由等 ・ 音声案内、電子化による字幕表示の充実
6) ICTの利活用とスマートインクルージョンの推進	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT技術の活用に期待するが、活用のための研修会等を開催し、活用の平準化を図ることが必要 ・ 役立つアプリが次々登場。その学習会開催や開催補助を。 ・ 利用するための補助金の支給 ・ 障害者、高齢者、子供でも利用できる統一した環境の整備 ・ 今回のようにSNS等を活用し、「これならICTを利活用できる」といった情報発信を期待
7) その他	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制度の狭間で苦しまなくて済むような配慮が必要 ・ ひきこもりなど、障害福祉サービスからもれている人々にも安心して暮らせるサービス ・ 学校教育、家族、地域のつながりが大事 ・ 点字ブロックの意義や役割を市民へ啓発 ・ 入所後に行動援護を利用したい ・ 雇用について、障害のある人の特性を活かした周りのサポート、支援体制の構築

⑤ その他、次期ノーマライゼーションプランや市に対する意見

【市民フォーラムについて】

- ・ 広い場所で密にならないように是非開催してほしい。
- ・ 動画配信をもっと発信してほしい
- ・ 実際に意見交換をするため、オンラインによる開催にしてはどうか
- ・ 地区民児協では1月に定例会開催が殆どなく、よく周知できない
- ・ 盲ろう者の方は通訳・介助員共に必要なため、早めに連絡して欲しい

【その他】

- ・ 積雪時の支援等（雪かきの援助、歩道の流水・電熱融雪など）
- ・ 障害者が社会に出る際の「働く場」、「生活する場」について安心できる体制